

教育経済建設常任委員会行政視察報告書

小林 貴 浩

○福井県坂井市

学力向上に向けた取り組み及び教育環境の整備について

【所 見】

坂井市丸岡南中学校の現地視察をすることができた。テスト期間中とのことで生徒は登校していなかったが、教育長、学校長、教員の皆様からの説明を受け、学校の隅々まで施設を視察させていただくことができた。中でも特徴的だったのは、全ての教科がそれぞれの専用教室とメディアセンターをもち、必要な教材を常設することにより教科特有の学習環境を構成している。生徒は毎時間、各教科専用の教室に移動して授業を受ける。メディアセンターは各室に開かれたオープンスペースで教科ごとに必要な図書・プリント・資料・情報機器などの教材が用意され、授業の流れに応じて自由に使うことができる。また、各教科の教師の主な居場所となるため、生徒の相談に気軽に応じたり、生徒の自主的な学習を援助したりする場としても効果を上げている。福井県初の教科センター方式を採用した中学校であった。

また、教科センター方式以外にも施設や教育形態が日本では珍しい事例であった。中でもホームルーム教室は、各教科室を割り当てて使用するホームベース方式を採用し、授業と生活との切り替えを図る場所として活用されているのも大きな特徴であった。また、集団の中で自主性と自立性を育てることを目的とした異学年集団による活動スクエア制を採用しており、各学年1クラスずつのグループを1つのスクエアとし、花・鳥・風・月の4つのスクエアを構成しており、学級もスクエアごとにまとめて配置している。効果として学年の壁のない楽しい一日を過ごし、親睦と共に縦の団結力が高められるということであった。

丸岡南中学校の取り組みで一番強く感じたことは、教育長が「学力向上の効果は正直これからだが、本校はいじめゼロであり、これはセンター方式とスクエア方式採用の効果である。」と胸を張って話していたことである。今回の視察の取り組みは、本市の学力向上だけではなく、いじめ問題等の解決のヒントとして大いに参考になる視察であった。

○石川県小松市

企業立地支援制度について

【所 見】

小松市の企業立地支援制度は最大10億円(県制度と併用で最大50億円)の企業立地補助金や低利融資などの優遇制度を設けており、その他の企業支援策とともに企業の立地サポートを行っている。また企業立地を促進することで小松市の産業振興や雇用拡大、都市機能の向上を図り、魅力ある都市基盤を形成し、定住人口の拡大を目的として企業立地助成金を創設した。

主に製造業から物流、サービス業まで幅広い助成対象が特徴的であった。中でもいきいき働ける環境づくりとしてキャリアアップ支援・ワークライフバランスの推進・雇用促進と経済力の推進など、今後想定される課題に対して幅広くメニュー設定をしている所が特徴的であった。また、地元企業支援策や女性起業家支援策なども充実しており、ものづくり支援や起業家育成支援についても積極的に行っており、商工業だけではなく「小松市全体のまちづくり」という意識で企業立地を行っていることを強く感じた。

空港や世界的な建設機器メーカーの本社を持つ強みを活かした小松市の「まちづくり」という幅広い捉え方で行っている企業立地制度は、まだ道半ばであるとのことであったが、今後大きな成果を上げることになるという可能性を十分に感じさせる内容であった。今後、本市の産業団地誘致施策に大変参考になる視察であった。